

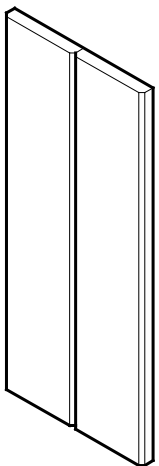
施工説明書 施工業者様用

ナチュラル ヴィンテージ 収納折戸
《扉施工用》

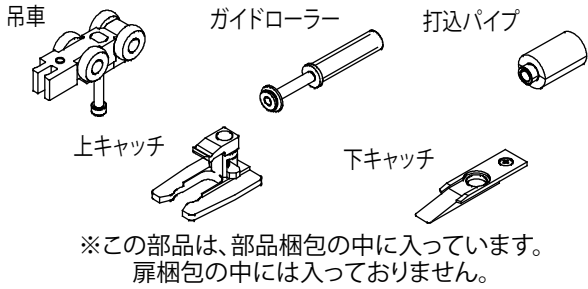
このたびは、阿部興業の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

！ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。
- 使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

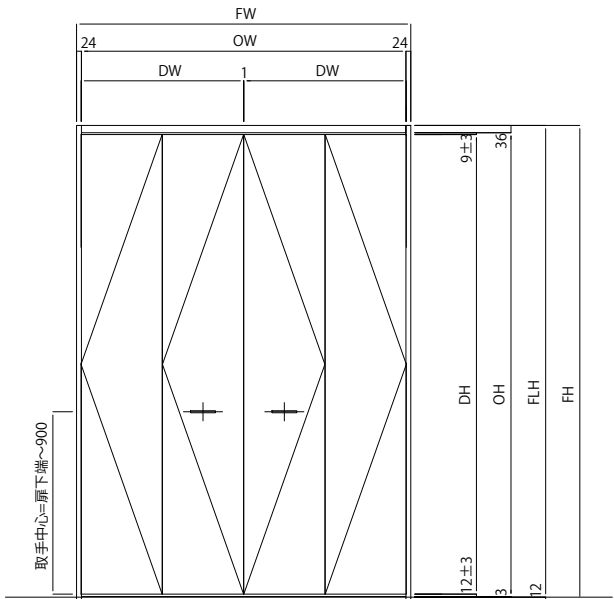
扉 梱 包									
	<幅 3 0 用>	<幅60用>	<幅90用>	<幅120用>		<幅30用>	<幅60用>	<幅90用>	<幅120用>
扉本体	1	2	3	4	取手 ※ビス付	1	2	3	4
									
					—				
									クッション

部品梱包	＜幅30用＞	＜幅60用＞	＜幅90用＞	＜幅120用＞
吊車	2	4	6	8
ガイドローラー	2	4	6	8
打込パイプ	1	1	1	1
上キャッチ	1	2	2	2
下キャッチ	1	2	2	2



納まり図

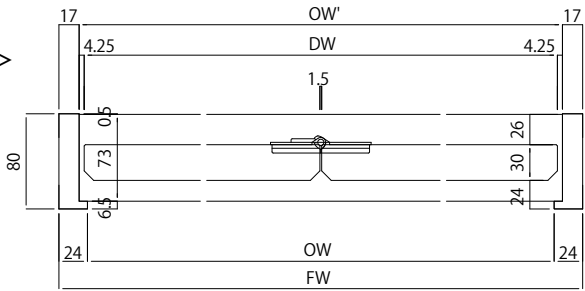
姿図



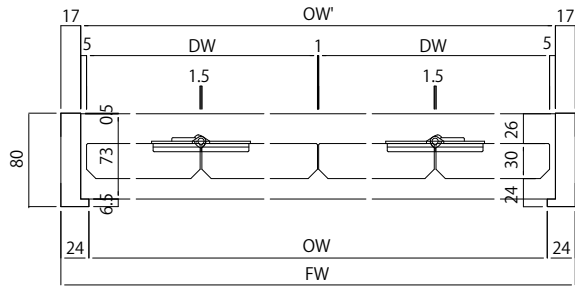
枠	タイプ	FW (mm)	FH (mm)
四方枠	幅30	755	2047/2340
	幅60	1650	
	幅90	2453	
	幅120	3258	

横断面図

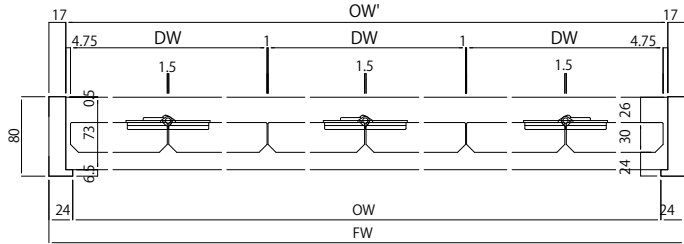
＜幅30用＞



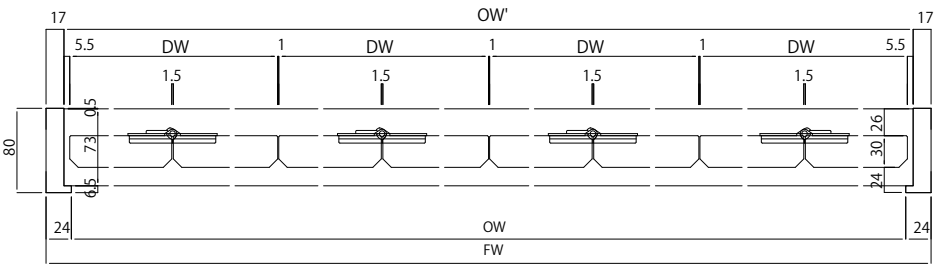
＜幅60用＞



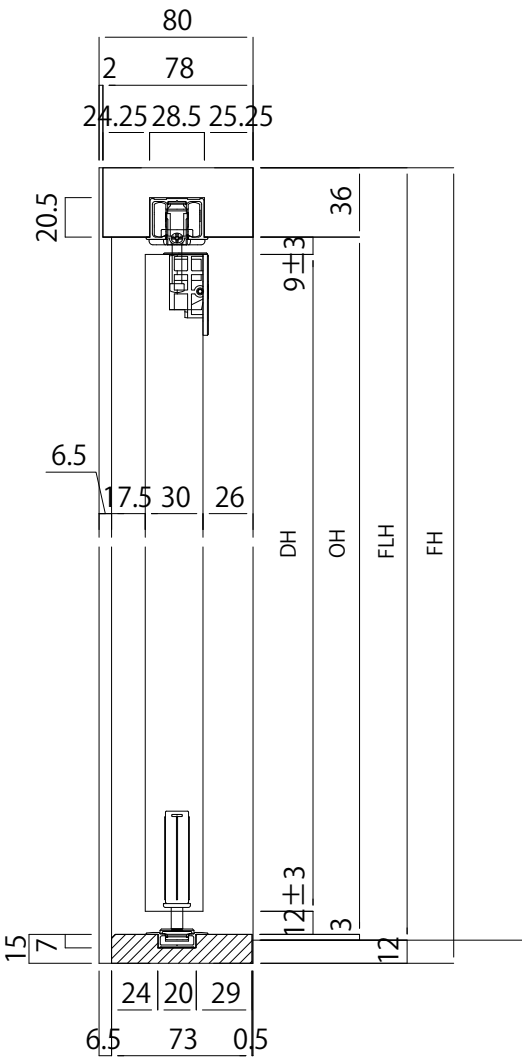
＜幅90用＞



＜幅120用＞



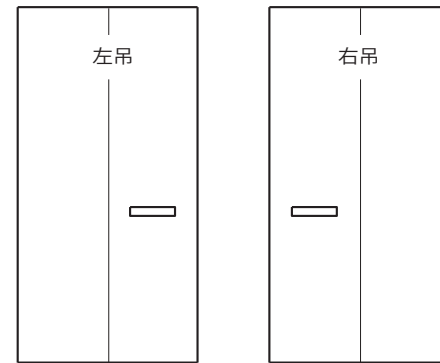
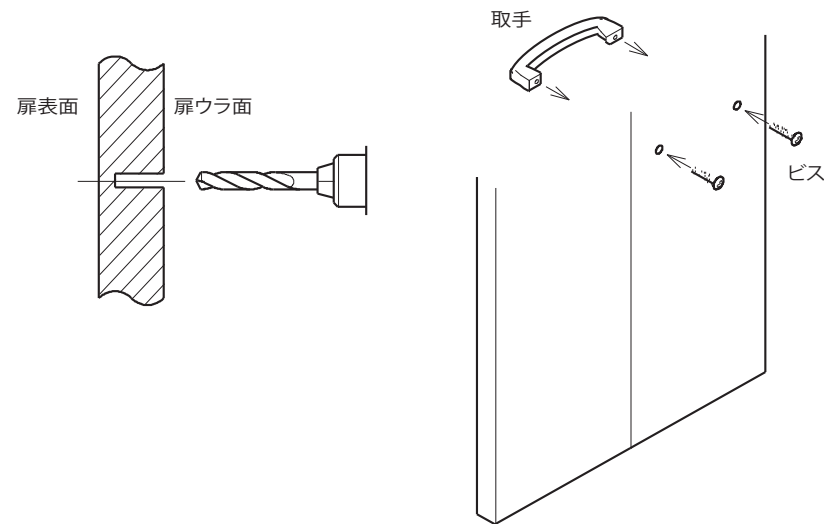
縦断面図



1. 部品の取付け

<取手の取付け>

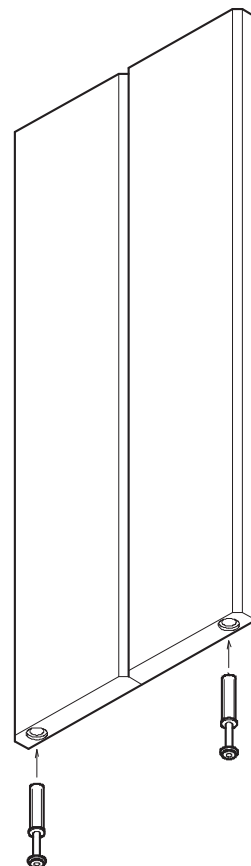
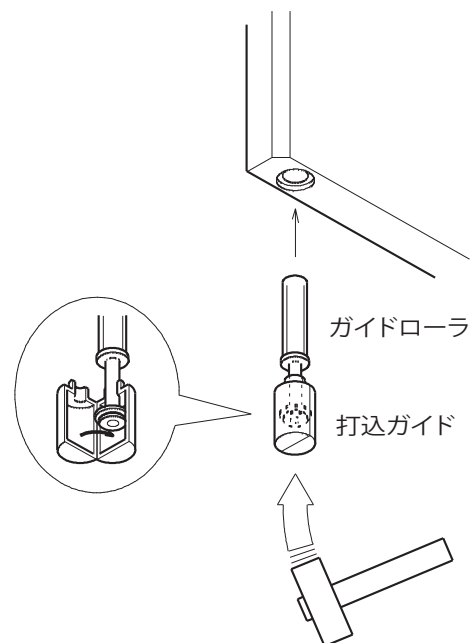
- ①扉の左右勝手を決めて、吊元側の反対の扉に裏面から取手取付け穴をキリ5で貫通させて、取手をビスで取付けてください。



<ガイドローラーの取付け>

- ①打込みパイプを使って、ガイドローラーを扉の下部に打込んでください。

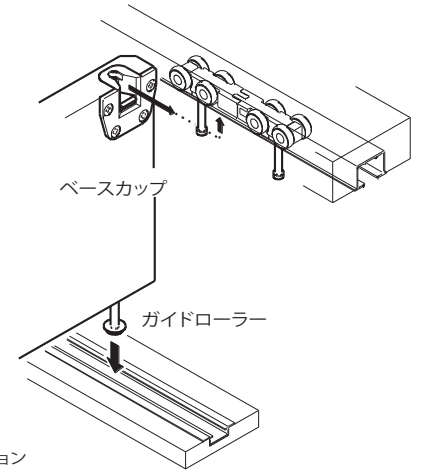
注意 金づち等で直接ガイドローラーを叩くと、破損の原因になります。必ずパイプを当てて打ち込んでください。



2. 扉の吊込み

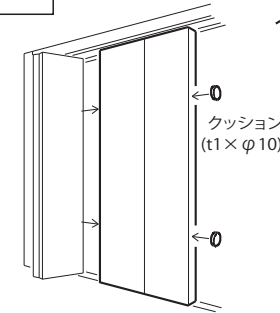
- ①扉下部のガイドローラーを下レールに入れてください。
- ②扉をたたんで、扉裏面のベースカップの溝に、吊車の軸をはさみ込んでください。
- ③はさみ込んだ状態から扉を持ち上げると、軸がベースカップに差し込まれ、接合できます。

注意 吊車の軸は、ベースカップに「カチャッ」と音がするまで完全に差し込んでください。誤った取付け方をしますと、扉が外れて、人身事故や家財の破損を引き起こす原因となります。



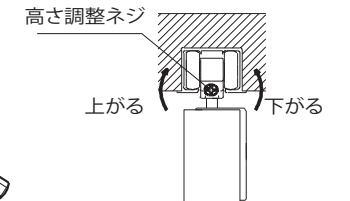
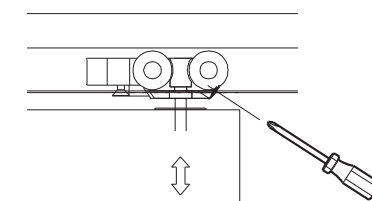
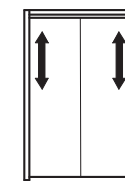
<クッションの貼付け>

- ①扉と扉の間隔を調整するために、扉小口にクッションを貼ってください。



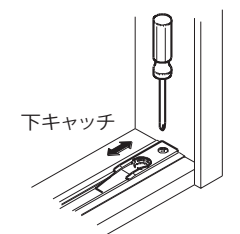
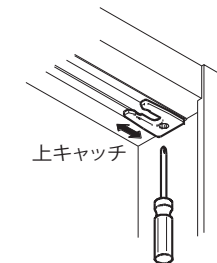
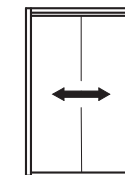
◆上下調整◆

- ①吊車の高さ調整ネジを、ドライバーで回して調整してください。



◆左右調整◆

- ①上下キャッチのビスをゆるめ、左右にずらして調整してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
- 養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。

※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。